

# ロケツアーリズム マニュアル(概要版)

ロケツアーリズム連絡会  
ロケーションジャパン監修

# ロケツーリズムとは

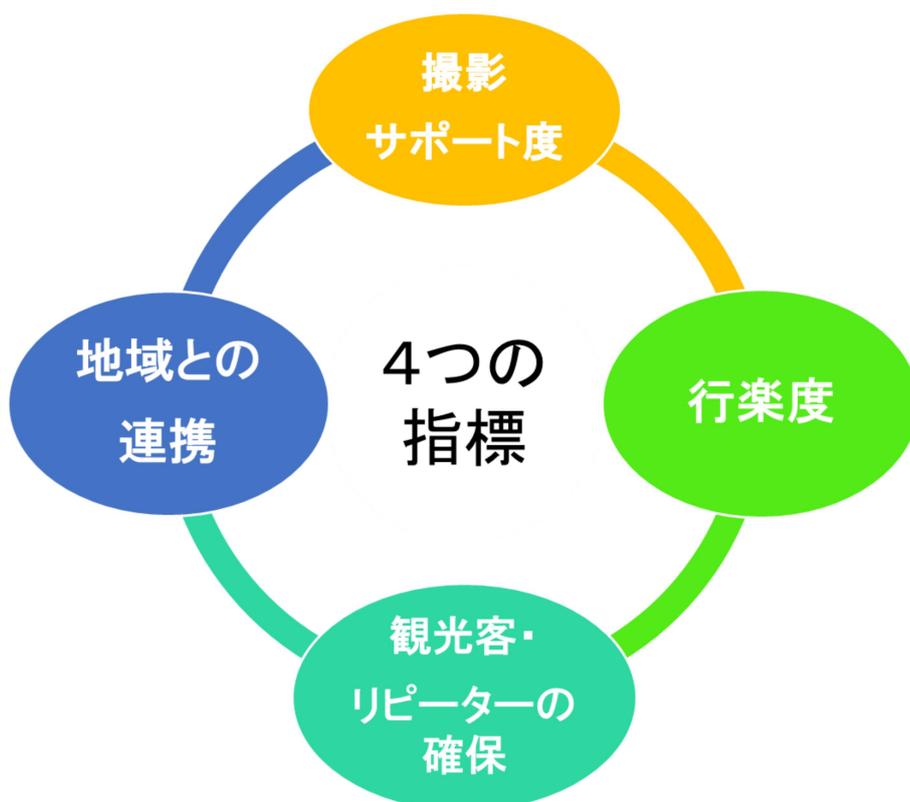
映画・ドラマのロケ地を訪ね、物語の世界にひたり、その地域のファンになること

ロケ地を観光に活用したロケツーリズムに関しては、朝ドラや大河ドラマの例を見ても分かるように、そのインパクトも大きいことから、その地域での持続的な観光振興の取り組みにつながる観光資源として有望である。

ここでロケツーリズムとは、ロケの観光面での活用に力点を置き、シティープロモーション、地域活性化につなげることを目的とする。

## 《ロケツーリズムの4つの指標》

ロケツーリズムを効率的・効果的に推進するためには、以下の4つの視点で取り組むことが望ましいと考える。



## 4つの基準①

### 撮影サポート度 3つのポイント

#### ・撮影サポート度とは？

地域で撮影が行われる際、地域側に受け入れ体制が整っているかを見ているもの。例えば窓口は一本化になっているか、エキストラの数、また炊き出しの用意は可能か、撮影可能施設について、宿泊施設はあるかなどロケを円滑に進めるためのポイントを見る。

下記3つのポイントが、撮影サポートの**成功への近道**！

目標をしっかりと定めれば、ロケを有効活用できる。

撮影を受けた時点で、作品作りに携わるスタッフの一員と考える

### ①問い合わせシート

問い合わせシートを利用し、内容を記録すること。

《情報のデータ化》→《傾向の分析》→《次への対策》

この繰り返しが反響UP、決定率UPの基本になる。

### ②撮影規約書

トラブル無く撮影を進めるためには、事前の確認が最も重要。

スムーズに撮影できるよう、施設のルールを盛り込んだ

施設オリジナルの**規約書**を作成し、必ず取り交わしたい。

### ③丁寧な対応

映像制作者は個人で作品ごとに携わっている方が多く、

一度ダメでも、別の作品で問合せがあることも多い。

**丁寧な対応**がピーターを呼び撮影依頼の増加につながる。

# 4つの基準① 撮影サポート度

## ロケの流れと対応の仕方

### 全体の流れ&チェックポイント

お問合せ

**問い合わせシート** で情報を記録する。

※作品の企画書・台本のコピーや絵コンテをもらう。  
※関係各所への受け入れの確認を行う。

ロケハン

《制作部の担当者・AD(アシスタントディレクター)等、1~数名》

CHECK①

**※施設の撮影条件やルール等は、  
ここで伝える。**

メインロケハン

《監督・スタッフ等、2~10名》

**撮影規約書** を渡す。

※担当者に規約書を渡し、撮影が決定次第提出してもらう。

CHECK②

**※決定orNGの場合、いつ連絡をもらえるのか？  
ここで確認しておく。**

撮影決定

CHECK③

**※スケジュール・支払い方法・規約書の提出  
活用の交渉等、全て事前確認を行う。**

前日確認

※急きょスケジュールが変更する場合がありますので、こちらから最終確認をする。  
また、撮影前の現場の状態を写真等で記録する。

撮影立ち会い

**丁寧な対応** を心掛ける。

※事前に交わした規約に基づき撮影しているかどうか、しっかりと立ち会う。

終了確認

CHECK④

**※終了後担当者と、原状復帰・傷・破損  
紛失物・忘れ物等、確認をする。**

# 4つの基準② 行楽度

旅行者がロケ地に行った際、物語の世界観が実際味わえるか。また旅自体を楽しめるかがポイント。ロケ地を見つける為の著作権(版權)を活用したロケ地MAPもツールの1つである。

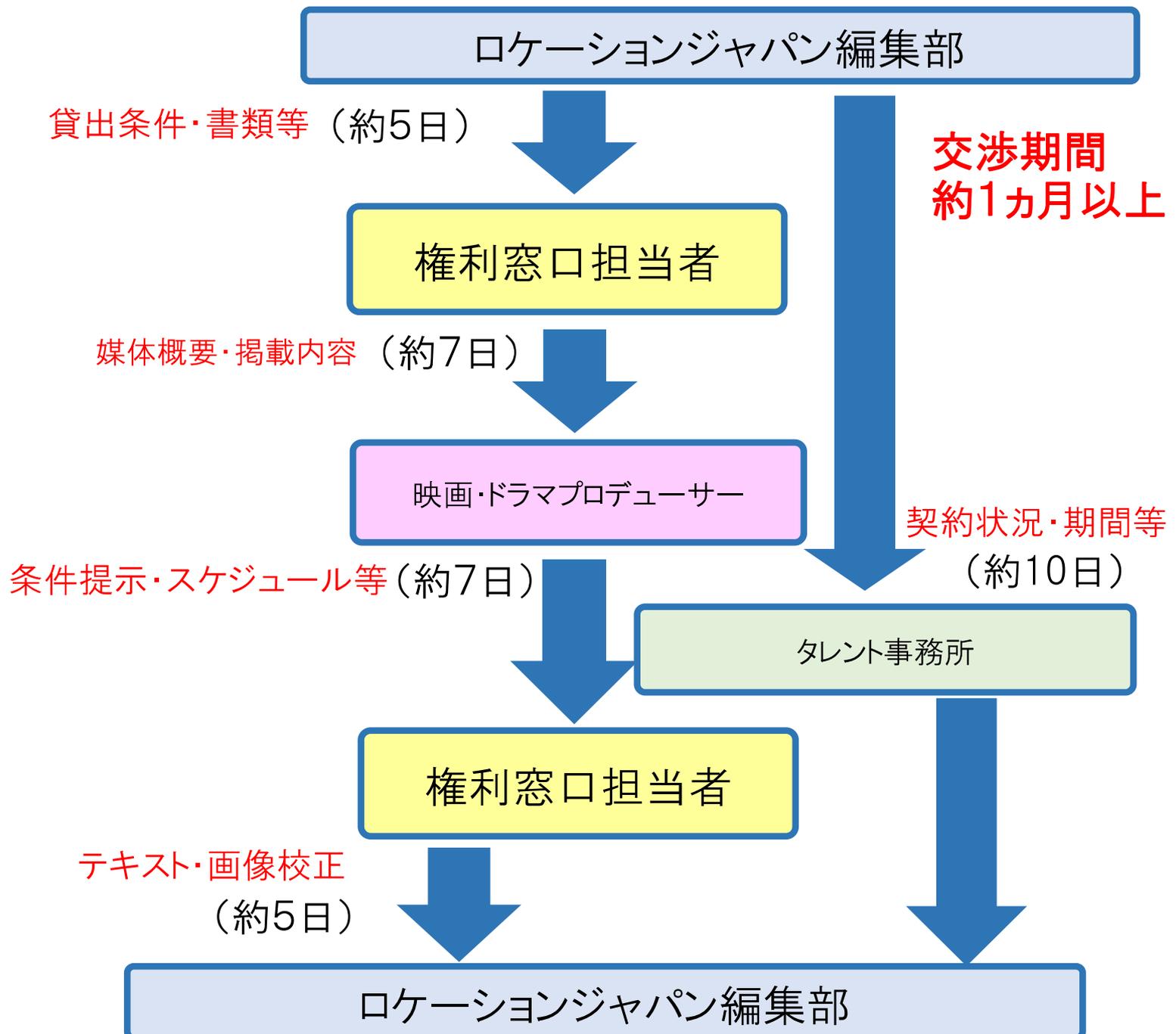
著作権(版權)とは？

ここでいう著作権は、映像や写真などを財産としている利用する権利や有名人の氏名・肖像・パブリシティの総称。

無断で使用することはできない為、権利を持っているところへ交渉の流れが下記となる。

## 著作権(版權)交渉の流れ

※ロケーションジャパンの場合



# 4つの基準② 行楽度

## ロケ地MAPの事例

○誰に向けて？

- ・地域の方々(住民、在勤、出身者)
- ・観光客(国内、海外)

○どうなってほしいか？

- ・地域の人に**“知ってもらおう”**ことが目的
- ・訪れた時に**“周遊してもらおう”**ことが目的



## ロケ地MAP実績 ~初級篇

### 事例① 発地型 複数作品

#### 湘南藤沢MAP

**ロケ地としての盛り上がりから、まちの魅力を知ってもらおう！**





## 4つの基準③ 地域との連携

地域との連携は、これまで述べてきた撮影サポート度の向上、ロケ地行楽度の向上、観光客・リピーターの確保の3つの要素すべてに関係がある。

ロケ受け入れには「何のためのロケ対応なのか」地元の理解が必要であり、ロケ地スト(観光客)を満足させ、ファン(リピーターに)にさせる為には地元の“おもてなし”や対応が必須である。ロケに対する理解が観光客増加の鍵となり、ロケツアーリズムの成功につながる。

## 4つの基準④ 観光客・リピーターの確保

ロケツアーリズムによる観光の盛り上がりを一過性に終わらせないためには、ロケ地ストである観光客の満足度を高め、リピーターになってもらう必要がある。

STEP1 ロケの効果により、まちを知ってもらう

STEP2 地域の魅力を発信し、まちを訪れてもらう

STEP3 訪れた観光客にまちの魅力を知ってもらい、ファンになってもらう

STEP4 まちが受け入れをしっかりと行い、観光客のリピーターを確保する

# 【構成メンバー】

## 【構成メンバー】

### 座長

株式会社地域活性プランニング 代表取締役 藤崎 慎一

### メンバー

大分県東京事務所 おんせん県おおいた 課長 阿部万寿夫  
神奈川県綾瀬市 環境経済部商工振興課 課長 岩見照人  
千葉県勝浦市 勝浦ロケーションサービス代表 小高伸太  
千葉県いすみ市 参事 早川卓也  
湘南藤沢フィルム・コミッション 主査 堀昌弘  
蒲郡シティプロジェクト プロジェクトリーダー 鈴木寿明  
相模鉄道株式会社 営業部 課長 和田潤一郎  
伊豆急行株式会社 営業部 部長 鈴木 孝明  
伊豆今井浜東急ホテル 総支配人 山崎宗紀  
ロケーションジャパン 編集長 山田実希  
株式会社ポジティブドリームパーソンズ 伴佳代子  
デイ・ナイト株式会社 取締役 高崎雅範  
株式会社エポック社(元TBSライツ事業部) 執行役員 田中康之  
跡見学園女子大学観光コミュニティ学部観光デザイン学科 准教授 村上雅巳  
ロケなび！ マネージャー 安黒道晃  
ロケなび！ マネージャー 宮川崇  
松竹株式会社 経営企画部 プロデューサー 小林敬宣  
株式会社ホリプロ 取締役執行役員 朝長泰司  
マックロータス株式会社 代表取締役 露崎 裕之

観光庁観光地域振興部 観光資源課 課長 長崎敏志  
観光庁観光地域振興部 観光資源課 ニューツーリズム推進官 大岡秀哉  
観光庁観光地域振興部 観光資源課 係長 日野由加里

その他多数